

プログラム展開例集

## ほかほかあったかやさしい心



明日から使える展開例！ おすすめポイント

ひとつひとつが心に響く授業なので1時間扱いでも使える！

適応学年が書いてあるのでいろいろな学年で使える！

資料とワークシートがついているのでそのまま使える！

板書の写真が載っているので展開が一目でわかる！

「心のノート」の具体的な活用法がついている！

道徳プログラム通りに行えば効果は倍増！



## 各展開例の概要

ページ	時間	プログラムのステップ	主題	「資料名」	資料の 適応学年	関連する 内容項目
P.2	年度のはじめ	ステップ0 道徳授業の大切さを知る	道徳オリエンテーション	心のノート「そっと自分に聞いてみよう」	全学年	
P.4	短学活	ステップ 思いやりの心を知識として理解するきっかけ	思いやりの心ってなんだろう プログラムオリエンテーション	心のノート 「思いやりの心を探そう」	中～高学年	思いやり
P.5	短学活	ステップ 心の伝え方を理解する	心を伝え合おう	ホカホカコミュニケーション	低～中学年	
P.6	道徳1	ステップ 表現力・表現意欲を持つ	言葉と思いやり	「水のつばやき」	2～5年生程度	敬けん・礼儀 尊敬・感謝
P.8	道徳2		態度と思いやり	「心のことば」	中学年	礼儀 思いやり
P.10	道徳3	ステップ 自己肯定感を高める	自分への思いやり	「文字を書く喜び」	中～高学年	自立・節制 勤勉・努力
P.14	道徳4	ステップ 思いやりの対象を広げる	家族の思いやり	「この腕が動いたら」	中学年～中学生	家族愛 生命尊重
P.16	道徳5		周りの人への思いやり 思いやりの心の美しさ	「花咲き山」	中学年	敬虔 思いやり

ワークシートについては、ワークシートのボタンをクリックして出してください。

## 道徳オリエンテーション

道徳オリエンテーション  
の意義

適応学年  
全学年

1年生については5～6月になってからがよいでしょう。

道徳の時間はどんな時間か？今年の道徳はどんな勉強をするのか？  
…ということを、子供たちに伝えることが大切である。  
毎年、学年の最初の道徳の時間には、オリエンテーションの時間をとるとよい。

おさえておくポイント

- ・道徳の時間の意義
  - ・今年の学習内容
  - ・心のノートの使い方
  - ・道徳の時間の約束
- これから1年間の道徳が楽しみになるように、  
温かい雰囲気で行う。

心のノートの活用

表紙を見て感じたことを話し合う  
目次を見て、学習内容を知る。  
プロフィールのページを記入する。  
自分だけの題名をつける。

1 ねらい 道徳の時間の大切さを知り、授業に主体的に取り組んでいこうとする意欲を持つ。

参考 教師自身の考える道徳の時間の大切さを真摯に語るようにする。の参考として、  
H16年度の長期研修員が書いた意見をいくつか掲載します。

仁・・・人と共に生きる。

人間は一人では生きてゆけない。だから人と人をつなぐ「心」が大事。

友達があって自分がある。まわりがいるから生きていける。

自分を知り、人を知り、仲良く楽しく過ごせるように。

みんなが幸せに生きるためには、何を考え、どう行動したらよいか知るため。

できること ふやして生かそう みんなのために。

道徳の時間に、自分のこと、みんなのこを見つめてみよう。

道徳を真剣にやると、たくさんの人と幸せに暮らしていける。

心・技・体、バランスのとれた世界にはばたく日本人になろう。

道徳によって、自分を振り返り、社会のためにより良い自分となる

自分も幸せ、みんなも幸せ。「道徳は、明るい未来へのパスポート」

人の命、自分の命を大切に。

内面の美しさは人の美しさ。 育てよう 豊かな心。

誰にでも悩みってあるんだよ！それを道徳の授業で知っていこう！

心で感じたことを行動に！

道徳で心を見つめ、心を磨き自分を磨く。

自分の心の中をのぞいてみる勉強だよ！

道徳は、心のポケットを温かい気持ちでいっぱいにする時間。「自分にしか見えないけどね」



## 2 展開

時	学習活動 主な発問・指示	支援・留意点
3分	<b>1. 道徳の時間の意義を知る</b> 道徳の時間は、どんなことを勉強する時間だと思えますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の心をほぐし、率直に自分の考えを言えるように、発言に共感して受容する。</li> <li>・道徳の時間の意義に気づけるように、<u>教師自身の考える道徳の時間の大切さを真摯に語るようにする。</u>（P 372 の参考資料参照）</li> </ul>
20分	<b>2. 心のノートの表紙を見て、気づいたことを話し合う。</b> 心のノートの表紙の絵を見てみましょう。何が書いてありますか。 絵を見て感じたことを言ってみましょう。 <b>3. 心のノートの目次を見て、中学年の道徳で勉強することを確認する。</b> 今年、どんなことを勉強するのか、読んでみましょう。 <b>4. 「わかちあいの約束」を確認する</b> 楽しいよい勉強の時間にするために、約束があります。（ ）にどんな言葉が入るか考えながら読みましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の心をほぐし、率直に自分の考えを言えるように、元気よく発言していることを賞賛したり共感的に受容したりする。</li> <li>・心のノートの絵は性にに基づく差別感解消を意識した色違いになっていることを押さえるために、男の子と女の子の洋服の色に着目させる。</li> <li>・明るく楽しく読み合えるように、役割読みを取り入れて読み合う。</li> <li>・興味を持ちながら読み合えるように、（ ）内に入る言葉を考えさせながら読み合う。（「わかちあいのやくそく」は下参照）</li> <li>・楽しくよい勉強の時間にするのを他の教科の時間にも意識できるように、大きく印刷した「わかちあいのやくそく」を年間教室に掲示しておく。</li> </ul>
15分	<b>5. 心のノートの「そっと自分に聞いてみよう」のページを記入する。</b> 心のノートの6ページを、心の中で自分とおしゃべりしながら書いてみましょう。 先生に見せたい人は見せにきてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人が自分と向き合えるように、落ち着いた雰囲気にするために、静かなBGMを流す。</li> <li>・一人一人の気持ちを大切にするために、見せに来た子のものは、記入内容に共感をしながら見る。</li> <li>・学級の仲間と、気持ちを分かち合うために、発表してもいいという子のを幾つか発表する。</li> </ul>
7分	<b>6. 心のノートの題名を考える。</b> 心のノートに自分だけの素敵な名前を付けましょう。 題名を発表できる人は発表してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなか題名がつけられない子供のヒントとなるように、題名をつけられた何名かに題名を発表してもらおう。</li> <li>・発表時には、わかちあいの約束を意識するように声をかける。</li> <li>・自分だけの特別なノートとして大切にしていけるように、まだ題名がつけられない子には家でゆっくり考えるように促す。</li> </ul>

## 3 評価

(1) 道徳の大切さを感じることができたか（観察）

(2) 道徳の授業に主体的に取り組んでいこうとする意欲を持つことができたか。

（観察・心のノートへの記述）

**「わかちあいのやくそく」**  
みんなでわかちあい、楽しいよい道徳の時間にしましょう。

**<友達が聞きたくなる話し方>**

1. はっきりゆっくり大きな声で話そう
2. みんなにわかりやすいように工夫をして話そう
3. みんなのほうを見て話そう

**<友達が話したくなる聞き方>**

1. 友達の（ ）を見てよく聞こう
2. よくわからないことがあったら、たずねてみよう
3. 友達のいいところを見つけよう。  
（たとえば、「細かくみているね」「よく気がついたね」「おもしろいね」「よく考えたね」など）
4. 友達の話から、自分が学んでいこう  
（友達の言葉がヒントになって自分で新しいことに気付くことがあります）
5. 友達の話が終わったら、「よかったよ。ありがとう」という気持ちを込めて（ ）をしよう。



プログラムオリエンテーション(短学活)

プログラムオリエンテーション  
の意義

**適応学年**  
中～高学年

低学年はウェブマップは書いて  
あげる等、簡単にわかりやすく  
説明してあげるといいでしょう。

このプログラムではどんな勉強をするのか？  
ということ、子供たちに伝えることは非常に大切なことである。  
毎回、プログラム道徳の前には、プログラムオリエンテーションの時間をとるとよい。

おさえておくポイント

- ・ねらいとする価値の想起
- ・プログラムの意義・テーマ
- これからのプログラムが楽しみになるような、ネーミングを考える。

- 心のノートの活用
- ・P40で、人の気持ちを想像する経験をする。
  - ・P38を概念の想起のためのヒントとして扱う。

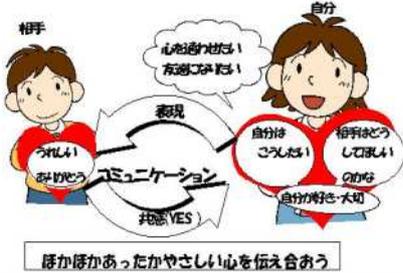
(ページ数は中学年用)

1 ねらい 「思いやり」の概念を想起する。  
プログラムの意義を知り、これからの学習への意欲を持つ。

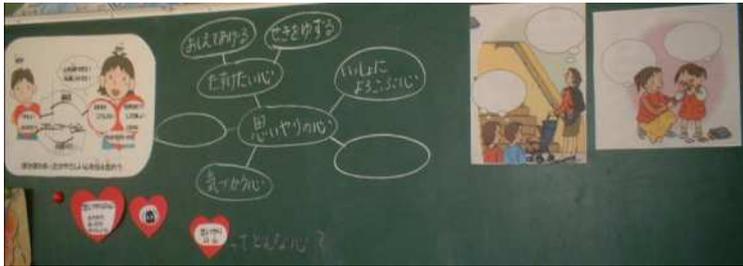
2 活動の流れ (短学活で行う計画なので、15分間の案)

時	学習活動 主な発問・指示	支援・留意点
10分	<p>1. 思いやりの心を中心に、ウェブマップを書き、概念を想起する。</p> <p>心のノートのP40の吹き出しにはどんな言葉が入るでしょう。</p> <p>「思いやりの心」ってどんな心でしょう。連想することを自由に書いていきましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「思いやりの心」を考えるきっかけとなるように、人の気持ちを想像して、どうしたらよいか考えることを導入に扱う。</li> <li>・イメージをつかみやすいように、黒板にウェブマップの例示を示す。</li> <li>・心のノートのP38に3つの心が載っていることを知らせる。</li> <li>・一人一人の発想を大切にするために、各自で自由に書けるように、たくさん書けている児童を賞賛して回る。</li> </ul>
5分	<p>2. これからのプログラムのおおまかな流れを知る。</p> <p>これから「ほかほかあったか優しい心」というプログラムで勉強していきます。みんなでほかほかあったかいいを伝え合えるようになれるといいですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しい思いやりの心を伝え合えるようになって欲しいことを伝えるために、「ほかほかあったかやさしい心を伝え合おう」の図(下図)を掲示する。</li> <li>・「心の目をしっかりひらく」ということを印象づけるために、心の目のペープサートを提示する。</li> </ul>

3 思いやりの心を伝え合える人間関係の図



4 板書



## 心を伝え合おう！～ホカホカコミュニケーション(学活)

心に残る・  
心に響く工夫

**適応学年**  
低～中学年

「構成的グループエンカウンター」の理念に基づいた活動です。子供たちはとても喜びます。

子供たちに親しみやすいネーミングをする。  
「エンカウンター」ではなく「ホカホカコミュニケーション」  
歌を歌ったり、BGMを流したりして、活動に入りやすい雰囲気を作る。

1 ねらい  
言葉および表情やぬくもりを使って友達と触れ合う活動を行い、思いやりの気持ちを素直に伝え合おうとする意欲を高める。

2 展開(これは45分計画の活動案だが、朝の会など利用して、1エクササイズずつ行うのもよい)

子供の活動	時	支援・留意点
1. 「ねえ、歌おう」を歌う。 2. 気持ちを伝え合う方法はあるものがあるか考え、本時の活動のめあてをつかむ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習への雰囲気作りをして、本時のねらいにせまるために、事前に指導をしておいた歌を歌う。</li> <li>・「ねえ、歌おう」の歌詞を引用して気持ち(心)を伝え合うことの大切さを話し、学習意欲を高める。(「ねえ、歌おう」の歌詞はP9参照)</li> <li>・「普通の会話」の他に、「手紙」「表情」「ぬくもり」等の方法が、子供たちから出てくるように、日ごろの活動や道徳で学んだことを想起できるような言葉かけをする。</li> </ul>
3. 表情だけで気持ちを伝え合う。 表情の練習 気持ちを伝える	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情による印象の違いに気づけるように、学級の子供の表情の違う写真を掲示する。</li> <li>・「嬉しいよ」「悲しいよ」「怒ってるぞ」「いやだよ」等の気持ちを表情で表現させる。</li> <li>・隣の子と20秒程度見つめ合い、表情だけで相手に気持ちを伝える。</li> <li>・気持ちを分かち合うために、どんな気持ちが伝わってきたか、希望者に発表してもらう。</li> </ul>
4. ぬくもりだけで気持ちを伝え合う。(手を握る) 5. 表情とぬくもりで気持ちを伝え合う。(マッサージをしあう)	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目を閉じて、相手の手を握って、手のぬくもりだけで、今の気持ちを相手に伝える。20秒で交代する。</li> <li>・気持ちを分かち合うために、どんな気持ちが伝わってきたか、希望者に発表してもらう。</li> <li>・相手の表情を見て、気持ちよくなるようにマッサージをし合う。</li> <li>・1分で交代する。</li> <li>・気持ちを分かち合うために、希望者に感想を発表してもらう。</li> </ul>
6. 言葉で気持ちを伝え合う。(こしょこしょじゃんけん)	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感を高める活動。じゃんけんで勝った人は負けた人から自分のいいところを言ってもらう。</li> <li>・気持ちを分かち合うために、希望者に感想を発表してもらう。</li> </ul>
7. 今日の活動を振り返る。	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配布し、活動の感想を自由に表記させる。</li> <li>・時間は5分間とし、記述中「ねえ、歌おう」をBGMとして流す。</li> <li>・気持ちを分かち合うために、希望者に記述内容を発表してもらう。</li> </ul>

3 評価  
友達と素直に思いやりの気持ちを伝え合おうとする意欲が高まったか。  
(観察・発表・ワークシート)

4 事後  
朝の会等の時間を利用して、エクササイズを1つずつ、毎回違うペアで繰り返し行っていく。

## 態度と思いやり～「心のことば」

心に響く・心に残る工夫

適応学年  
中学年

資料は中学年向き。  
体験活動は高学年でも十分適する。

### 資料選定の工夫

「心の言葉1」 道徳の副読本から、価値にあった資料を選定して理解しやすいように改作する。  
「心の言葉2」 価値に迫るための自作資料を作る。

### 資料提示の工夫

場面絵のみ提示して、ゆっくりと語り聞かせる。

### 体験活動の工夫

隣同士で組んで、全員が役割演技をする。  
「思いやりの目隠し歩き」で、ぬくもりで優しさを伝え合う体験をする。

### 心のノートの活用

(ページ数は中学年用)

事前・・・プログラムオリエンテーションで、P38「思いやりの心をさがそう」を読んでおく。

本時・・・「どんな心がつたわってきたか」を考える時、P38を見て参考にする。

- 1 主題名 態度と思いやり - 「心の言葉」(内容項目 礼儀・思いやり)
- 2 資料 心の言葉1 資料「心のことば」道徳副読本「心つないで3年」(教育出版)を改作  
心の言葉2 資料「子ネコのネネ」道徳副読本「心つないで3年」(教育出版)を参考に自作

#### <心の言葉1> (改作資料)

ある朝のことです。わたしはその日日直で、朝早く行かなくてはなりませんでしたが。気持ちがあせっていたわたしは、学校の近くの横断歩道のところで、いらいらしながら車の止まるのを待っていました。

4、5台後に走ってきた車がやっと止まってくれました。そして、その車をうんてんしているおじさんが、「どうぞ」と言うように、右手と目で合図をしてくれました。わたしは思わず、ぴょこんとおじぎをしました。すると、そのおじさんも、え顔でおじぎをしてくれました。私は、おじさんと心の中でお話をしたような気持ちになりました。

#### 場面絵1



#### <心の言葉2> (自作資料)

昨日、家で飼っていたこねこのミミが病気で死んでしまいました。赤ちゃんの時から大事に育ててきた大好きなミミが死んでしまって、わたしはかなしくてかなしくてずっと泣いていました。次の日、学校へ行っても、ミミのことを考えて、全然元気がでません。

隣の席のたっちゃんが、「どうしたの?元気がないね」と声をかけてくれました。「昨日、ミミが死んじゃったの」それだけ言うと、涙がぼろぼろ出てきて、何も言えなくなってしまいました。たっちゃんは、だまって私の背中をやさしくとんとんしてくれました。わたしは、たっちゃんと心の中でお話をしたような気持ちになりました。

#### 場面絵2



### 3 ねらい

心を通わせ合うには、表情や態度・ぬくもりも重要であることに気付き、だれに対しても礼儀正しく真心を持って接しようとする態度を育てる。

4 板書



5 「ねえ 歌おう」の歌詞

表したい気持ちはいつだって  
胸の中にたくさんあるけれど  
みんなきっと本当はね わかりあいたくて でもうまく  
それが言えないから  
もどかしいよね  
ねえきみ 歌おう 歌は言葉をこえるから  
ねえきみ 歌おう 歌は心をつなぐから  
もっとやさしくなれるように  
もっと明るくなれるように  
もっと大きくなれるように  
人の思いがわかるように  
(作詞・作曲 中山真理)

6 展開

時	学習活動 主な発問・指示	支援 波線は心に響く工夫点
3分	<p><b>1 前時の復習をし、今日のめあてを確認する。</b> 気持ちを伝え合う方法にはどのようなものがありましたか 言葉を使う時に大切なことは何でしょう。 今日は言葉以外で気持ちを伝え合うことを勉強します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを想起できるように、前時で使った掲示物を使い確認するとともに、子供がワークシートに書いた感想をいくつか発表する。</li> </ul>
22分	<p><b>2 「心のことば1」(改作資料)を読んで話し合う。</b> 私とおじさんは、心の中でどんなお話をしたのでしょうか。  どうして、心の中の言葉がわかったのでしょうか。どんな心が伝わってきましたか。</p> <p><b>3 「心のことば2」(自作資料)を読んで話し合う。</b> 私とたっちゃん、心の中でどんな言葉がかわし合っていたのでしょうか。二人の役になって、その時の心の言葉を話してください。 どうして心の中の言葉がわかったのでしょうか。どんな心が伝わってきましたか。  「心のことば」は相手をどのように思う心なのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話に集中できるように、場面絵1を掲示して読み聞かせる。</li> <li>・「心の言葉にはえがお(表情)が大切」ということに気付かないようであれば、笑顔ではなく、むすっとした顔だったらどんな感じが考えさせる。</li> <li>・主人公の「礼儀正しい」態度にも気付けるように、助言をする。</li> <li>・話に集中できるように、場面絵2を掲示して読み聞かせる。</li> <li>・ぬくもりを体感できるように、全員で役割演技をする機会を設ける。</li> <li>・気遣う心にも気付けるように、心のノートの38ページを参考にするように助言する。</li> <li>・自分の経験を振り返れるように、考える時間・発言の機会を設ける。</li> <li>・視覚的にとらえやすくできるように、「 の心」と書いたハートマークを掲示していく。</li> </ul>
15分	<p><b>4 心の言葉をかわし合いながら、「思いやりの目隠し歩き」をする。</b> 今日勉強したことを生かして、ぬくもりと身振り表情だけ使って、目隠した相手が安心して歩けるようにつれて行ってあげましょう。  思いやりの目隠し歩きをしてどんなことを考えていましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを考えて言葉や態度やぬくもりで安全に導くという疑似的実践ができるように、<u>フラインドウォークの機会を設ける。</u></li> <li>・ぶっきらぼうにならないように、礼儀正しくする心や態度が大切だということを押さえておく。</li> <li>・安全確保のために、本人の席に着席させるところまで責任をもってつれて行くように促す。</li> <li>・体験後にすぐに振り返れるように早く戻ってきた子供には相手の子と感想を語り合っているように指示する。</li> <li>・ゆっくり自分の気持ちを見つめられるように、全員戻ってきてからワークシートに書く時間を5分間設ける。</li> <li>・考えをわかちあえるように、何人かを指名して発表させる。</li> </ul>
5分	<p><b>5 本時の学習を振り返る。</b> 今日見つけられた思いやりの心を思い出しながら、歌を歌いましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の心の中で振り返れるように、気持ちを伝え合おうという内容の歌詞の「ねえ歌おう」を歌って、終末とする。</li> </ul>

7 評価

- (1) 心を通わせ合うには、表情や身振り・ぬくもりも重要であることに気付いたか
- (2) 誰に対しても礼儀の心を大切にし真心をもって接しようとする気持ちが持てた。

(観察・ワークシート)

自分への思いやり～「文字を書くよろこび」

心に響く・心に残る工夫

**適応学年**  
 中学年～高学年

資料は中学年向きに書いてあるが星野さんのことは高学年や中学生でも十分使える。

**資料選定の工夫**  
 道徳副読本の資料と、「かぎりなくやさしい花々」という書物から、事実を曲げない範囲で、わかりやすいように改作。心に響く美しい詩画を見せる。星野さんのことが理解できるビデオを短く編集する。

**資料提示の工夫**  
 場面ごとに短く切って写真をはっていき、語り聞かせる。話の先を想像させながら語り聞かせる。白い帽子など実物を用意して見せる。ビデオの映像をスクリーンに大きく提示する。

**体験を生かす工夫**  
 主人公の行為がいかに大変であるかに気づけるように、主人公の追体験をする。(口にペンをくわえて文字を書く) 日常生活で子供たちが頑張っている様子の写真を見せる。

**心のノートの活用** (ページ数は中学年用)  
 事前・・・P20「『今よりよくなりたい』という心をもとう」を読み、P21の目標を書き出しておく。  
 事後・・・P23に頑張ることを書き、できたときには色を塗る

- 1 主題名 自分への思いやり(自分を大切にする心)ー努力の大切さ(内容項目 勤勉・努力)
- 2 資料 「文字を書く喜び」(光村図書道徳資料「きみがいちばんひかるとき」と「かぎりなくやさしい花々」を部分的に表現をかえた改作(自作資料) 補助資料 「鈴の鳴る道」(星野富弘) 星野富弘さんのビデオ

<資料1>

私が首から下が動かなくなる「首のけが」で入院したのは中学校の先生になってまもなくのことでした。けがをしたために、そのあと何回も何回も死にそうになりました。何とか命はとりとめたものの、首からは全く動かなく、ずっと寝たきりの生活になりました。入院して2年たっても、トイレも食事も自分ですることができないので、全て母に世話をしてもらって毎日でした。

そんなある日、高久くんのお母さんが、白いぼうしに寄せ書きをしてほしいとわたしのところへやってきました。高久くんというのは、足の骨の病気にかかっている中学生で、私と同じ病院に入院していたのですが、ちりょうのつごうで東京の病院にうつっていました。高久くんとてもなかなよかったですので、高久君をはげますために書きたいことがたくさんありました。しかし、手が動かないので、字が書けないのです。

<資料2>

色々考えて、私は口にサインペンをくわえてみました。サインペンをくだけるほどつよくかんで、母が持っていてくれるぼうしにやっと、ぽつんと小さな点が書けました。しかたなく、母がぼうしを動かして、名前の一文字、「富」と書きました。

「口にペンをくわえて字を書いた」と思った高久君はたいへん感激してくれました。

それから、「口で字を書きたい」という気持ちはますます強くなりました。しかし本の線さえ引くことができなかつたのです。自分一人では横も向けられないほど首の力が弱かつたのです。苦しい日が続きました。

ある日、看護婦さんのアイデアで、体を横に向けてもらって字を書くという方法に気づきました。横向きなので、頭をもちあげなくても、看護婦さんの持ったスケッチブックにサインペンが届きました。くわえたペンも、スケッチブックを持っている看護婦さんの手もぶるぶるふるえていました。ようやくカタカナの「ア」が書けました。くわえていたガーゼ

はよだれでぐっしょりぬれ、あまりに力をいれていたで、歯ぐきから血が出てガーゼにしみていました。

<資料3>

ミミズがのたくったような字でしたが、私は、字が書けたことがうれしくてうれしくてしかたありませんでした。字が書けたことは、ただ寝ているだけで何もできないと思っていた私にとっては、スポーツで新記録を出した時のように嬉しかったのです。それで、私は……

<資料4>

それで、私は次の日も次の日も練習しました。歯茎からどんなに血がでてでも一生懸命練習をしました。  
「私の書く文字も、いまはへなへなしていても、時間をかけて1本の線、1つの点をしっかりとかけるようにしていけば、いつかきっと、美しい字が書けるようになる」と思いました。  
私は、自分を大切にするために、自分のできることは一生懸命に頑張りたいと思いました。精一杯に頑張りたいと思いました。そして、文字を書いて、絵を描いて、自分の気持ちを人に伝えたいと思いました。

3 ねらい

自分を大切にするとは、一生懸命生きることということを知り、努力することは美しいこと、大切なことだと感じる。

自分がやろうと決めたことは頑張って続けていこうという意欲を持つ。

4 板書



5 子供の感想

今日の由が強をして自分大切にすることを  
いふことがまなべました。  
しづんがやっているスポーツや  
勉強ももっととなくしてわがごとく思  
います。

道とくは星野さんのことをけんきゅう  
して、口で字をかいてはだきか  
ちかいて、むずかしうしてたく  
つらくてそれでも、一生けんめい  
やてる星野さんはえらくてすこ  
いなあって思いました。わたしもど  
なにつらいことがあっても、  
かえはろうと思いました。

今日、星野さんの話を聞くと、よく  
をあんまりしない自分かはずかしいと思  
った。  
もっととなくをして自分かはずかしくな  
ないようにかんはりました。



6 展開

時	学習活動 主な発問・指示	支援 波線は心に響く工夫点
3分	<p><b>1 前時までの学習内容の確認と今日の学習内容の確認をする。</b> 心を通い合わせる方法は何があったでしょう。また、大切な心は何でしょう。</p> <p>今日は「<u>自分を大切に</u>する心」という思いやりの心について勉強をします。文字を書くことを頑張った人のお話をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習内容が想起できるように、前時までに使った掲示物をはって確認していく。</li> <li>・本時の内容に意識をつなげるために、クラスに文字を書くことを頑張っている子が多いことを知らせる。</li> </ul>
37分	<p><b>2 星野さんが初めて口で書いた字を見て星野さんのことを知る。</b> 何歳くらいの人の字だと思いますか。</p> <p>動けなくなってしまったとき星野さんはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p><b>3 「文字を書く喜び」の文を聞き、考える。</b> (資料1を語り聞かせる) 手が動かない星野さんは、このあとどうしたでしょう。</p> <p>(資料2を語り聞かせる) やっと字が書けた星野さんは、どんなことを思ったでしょう。 星野さんの方法でみんなも字を書いてみましょう。書いてみての感想を教えてください。</p> <p>(資料3を語り聞かせる)</p> <p>やっと字が書けて文字を書く喜びを知った星野さんはどんなことを考えたでしょう。 (主発問)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちに意外性を感じさせるために、星野さんが初めて口で書いた、カタカナの文字を提示することから、星野さんの紹介に入る。</li> <li>・星野富弘さんに親近感を持てるように、顔写真を提示し、群馬県の人であることや、かつて教員だったことを知らせる。</li> <li>・子供たちが一つ一つのことをより深く考えられるように、資料を途中で切り、問いを投げかけながら語り聞かせるようにする。</li> <li>・気持ちを伝え合うという本プログラムのねらいを意識できるように、「励ましの気持ちを伝えたい」という気持ちがあったことをおさえておく。</li> <li>・帽子の文字を書くということをイメージしやすいように、白いチューリップハットを見せる。</li> <li>・星野さんの気持ちを真剣に考えられるよう、心情を表す文意の前で切って、考えさせる。</li> <li>・星野さんの行動がいかに大変なことであるか肌で感じ取らせるために、疑似体験を取り入れる。(興味本位の行動に走らないように真剣に取り組むように促す。)</li> <li>・隣の席の子に板目表紙を持ってもらい、机に右耳をつけて書くようにするということがよくわかるように、教師が実際にやってみせる。</li> <li>・星野さんの努力の成果がよくわかるように、最初に提示したカタカナの文字と並べて、詩画集の作品を提示する。</li> <li>また、星野さんの紹介のビデオを見せる。</li> <li>・この時の星野さんの気持ちをじっくりと考えられるように、ワークシートに書く活動を取り入れる。</li> <li>・気持ちを分かち合えるように、何人かに発表させる。</li> <li>・資料4を読み、「自分を大切に<u>する心</u> できることを一生懸命に頑張る」ということをおさえておく。</li> </ul>
5分	<p><b>4 本時のまとめをする。</b> みんなも頑張って輝いていることがたくさんあります。</p> <p>花はなぜ美しいのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちも頑張れているという自信を持てるように、運動会の時に頑張っている様子やそうじ、当番、係の仕事などを頑張っているところの写真を提示し賞賛する。</li> <li>・一生懸命頑張ることの美しさを感じられるように、生花を見せて、花は一生懸命咲いているから美しいということ伝える。</li> </ul>

7 評価

(1) 自分を大切にすることは、一生懸命生きることということを知り、努力することは美しいこと、大切なことと感ずることができたか。

(2) 自分がやろうと決めたことは頑張って続けていこうという意欲が持てたか。

(観察・ワークシート・心のノートP23)

# column1

## 星野富弘さんのこと

星野さんは存在自体に力がある。  
今や、日本全国にその名は知られ、道徳の授業の実践例は枚挙にいとまがない。  
道徳の資料集でも星野さんの事は扱われるようになっている。

例 教出・中学2年「花に寄せて」 光村・小学4年「文字を書く喜び」

学校で扱っている資料集に掲載されていなくても、群馬県民として、星野さんのことは是非子供たちに伝えておきたい。

### ～星野富弘プロフィール～

昭和21年4月24日生まれ。群馬県勢多郡東村出身。  
群馬大学教育学部卒業後、高崎市立倉賀野中学校赴任。  
2ヶ月足らずで、クラブ活動指導中、頸髄損傷を負う。  
首から下の運動機能を失うが、口に筆をくわえて詩を書き絵を描く。  
1981年、結婚。  
1991年ふるさとの東村草木ダムほとりに、  
村立・富弘美術館が建設され、作品が常設されている。

著書「愛、深き淵より」  
「かぎりなくやさしい花々」  
「鈴の鳴る道」  
「風の詩」他、多数

# column2

## 「心のノート」のこと

文部科学省による「道徳教育推進状況調査」(平成15年)によると、全国の道徳教育推進状況は良い方向に進んでいるという結果が出ている。これは、心のノートの配布の効果が大きいと思われる。実際、全国の97.3%の小学校で心のノートを道徳の時間等に活用しているという結果が出ている。

心のノート活用のキャッチフレーズ「いつでも どこでも 何度でも」を心がけ、さらに積極的な活用を推進していきたい。

## 家族の思いやり～「このうでが動いたら」

心に響く・心に残る工夫

**適応学年**  
 中学年以上・中学生も可

3年生でもできたが、実際は高学年向き。中学生でも十分使える。

### 資料選定の工夫

詩画集「風の詩」より、母への気持ちを表した詩「なずな」を選定。  
 「愛、深き淵より」という本から、親子のつながりを表している記述を抜き出し、自作資料を作る。  
 親子のつながりを表したビデオを短く編集。

### 資料提示の工夫

詩の一文を隠して提示し、その一文の記述を想像させる。  
 親子のつながりがわかる写真・映像をプレゼンにしてスクリーンに提示する。

### 体験を生かす工夫

家の人からの手紙を読む。  
 家の人に手紙の返事を書く。

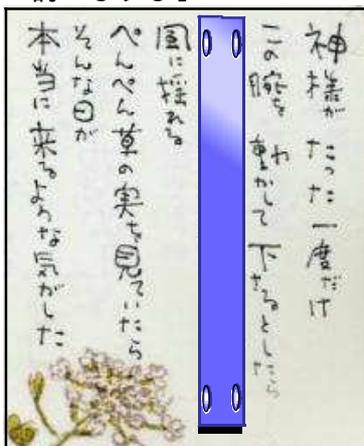
### 心のノートの活用

(ページ数は中学年用)

事前・・・P74「家族」のページを読み、家族の心配や願いの欄を記入しておく  
 本時・・・家族の心配や願いの欄の記述を見て、家族の思いを想起する  
 事後・・・P76～77に家族のことをまとめる

- 1 主題名 家族の思いやり (内容項目 家族愛 関連項目 生命尊重)
- 2 資料 詩「なずな」 詩画集「風の詩」(星野富弘)より  
 補助資料 「愛 深き淵より」(星野富弘)

< 詩「なずな」 >



< 「愛、深き淵より」の一部 >

私は口のなかのご飯粒を母の顔にむけて吐き出して、どなった。「チキショウ。もう食わねえ。くそばばあ」  
 ちらかったご飯粒をひろいあつめながら、母は泣いていた。  
 「こんなに一生懸命やっているのに、くそばばあなんで言われるんだから・・・」  
 「うるせえ、おれなんかどうなったっていいんだ。うんでくれなけりゃよかったんだ。チキショウ！」  
 母は涙を拭きながら自分の食事に出て行き、しばらくかえってこなかった。一度ひらいたイライラの出口は容易に閉じることができず、母がやっと帰ってきて、トゲのある言葉で母にあたった。…………

- 3 ねらい  
 家族愛や家族の思いやりの大切さを感じ、家族に思いやりの心を伝えようという気持ちを高める。  
 家族からの愛を受けていることを感じるにより、自分(の命)を大切にしようという意識を高める。

4 板書



5 展開

時	学習活動 主な発問・指示	支援 波線は心に響く工夫
5分	<p><b>1 前時の学習内容を確認する。</b> 星野富弘さんは、どんな人でしたか。</p> <p>自分の体が全く動かなくなってしまったとします。もし、たった1度だけ腕が動かせるとしたら、自分なら何をしたいですか。</p>	<p>・本時の内容につながるように、また、ゆさぶりをかけられるように、前時で示した写真等を掲示しながら星野さんのことを確認する。</p> <p>・前時の学習で感じたことを想起できるよう、学習の感想の幾つかを紹介する。</p> <p>・本時の学習内容への意識付けとしての問いかけである。回答はなくてもよい。</p>
20分	<p><b>2 「なずな」の詩画を見て考える。</b> 星野さんは何をしたいと書いたと思いますか。</p> <p>星野さんのことをもう少し詳しく知ると、わかかると思います。</p>	<p>神様がたった一度だけ この腕を動かして下さるとしたら ( ) 風に揺れるぺんぺん草の実を見ていたら そんな日が本当にくるような気がした</p> <p>・左記のような詩画をスクリーンに提示して( )内に入る言葉を考えさせる。 ・考えを分かち合えるように、何人かに発表させる。</p> <p>・一人で考えるのは難しいようであれば、隣同士で話しあって考えるように促す。</p> <p>・母親への思いやりの心を伝えたいということをおさえておく。</p>
10分	<p>星野さんはどんな気持ちでこの詩を書いたのでしょうか。 (主発問)</p>	<p>・じっくり考えられるように、本当の詩を提示したあと、ワークシートに記入する時間をとる。</p> <p>・考えを分かち合うために、数名意図的指名をする。</p>
10分	<p><b>3 自分の家族のことを考える。</b> みなさんにとって家族はどんな存在でしょうか。 家の人からの手紙を読みましょう。</p>	<p>・自分の家族のことを想起できるように、心のノートのP74～77の記述を見るように促す。</p> <p>・家族の大切さ、ありがたさと共に、自分の命の大切さを改めて実感できるように、予め家の人に書いてもらっておいいた手紙を本人に渡す。</p> <p>・自分は家族のためにどんなことをしたいと感じているか、問いかけて終末とする。</p>

6 評価

- (1) 家族愛や家族の思いやりの大切さを感じ、家族に思いやりの心を伝えようという気持ちが高まったか。
- (2) 家族からの愛を受けていることを感じるにより、自分(の命)を大切にしようという意識が高まったか。(観察・ワークシート・家族への手紙)

7 事後

家の人に手紙の返事を書く

## 思いやりの心の美しさ～「花さき山」

心に響く・心に残る工夫

**適応学年**  
**中学年**

資料は中学年用の道徳資料中の名作。  
 低～中学年のうちに触れさせたい話。

**資料選定の工夫**  
 挿絵・物語共に美しく、幻想的な不朽の名作絵本「花さき山」を選定  
 長くなりすぎないように「八郎」と「三コ」の部分は省略する。

**資料提示の工夫**  
 絵本の挿絵をそのまま映像としてスクリーンに投影し、物語をゆっくりと語り聞かせる。  
 資料の終末部分は、後から提示。

**体験を生かす工夫**  
 友達の親切な行動を想起し、学級の花さき山を作る

**心のノートの活用** (ページ数は中学年用)  
 事前・・・P41「親切はみんなの喜び」に親切にした経験・された経験を書いておく。  
 本時・・・学級の花さき山の花を作る時に、P41の記述を参考にする。

1 主題名 思いやりの心の美しさ (内容項目 敬虔 思いやり・親切)

2 資料 絵本「花さき山」(斎藤隆介)の一部を省略したもの  
 道徳資料集「花さき山」(学研 みんなのどうとく3年)

<物語前半部分>

おどろくんでない。おらはこの山にひとりですんでいるばばだ。山ンばというものもある。山ンばは、わるさをするというものもあるが、それはうそだ。おらはなんにもしない。臆病なやつが、山ンなかでしらがのおらを見てかかってにあわてる。そしてはべんとうをわすれたり、あわてて谷さおちたり、それがみんなおらのせいになる。

あや。おまえはたった十のおなごわらしだども、しっかりもんだからおらなんどこわくはねえべ。ああ、おらは、なんでもしってる。おまえのなまえも、おまえがなしてこんなおくまでのぼってきたかも。もうじき祭りで、祭りのごつおうの煮しめの山菜をとりきたんだべ。ふき、わらび、みず、ぜんまい。あいつをあぶらげといっしょに煮るとうめえからなア。

ところがおまえ、おくへおくへときすぎて、みちにまよってこの山サはいってしまった。したらば、ここにこんないちめんの花。いままでみたこともねえ花がさいているので、ドデンしてるんだべ。な、あたたたべ。この花が、なしてこうしてさくのだから、そのわけを、あや、おめえはしらねえべ。それはこうしたわけだしゃ。

この花は、ふもとの村のにんげんが、やさしいことをひとつするとひとつさく。あや、おまえのあしもとにさいている赤い花、それはおまえがきのうさかせた花だ。

きのう、いもうとのそよが、「おらサもみんなのように祭りの赤いべかかってけれ」って、あしをドデバダしてないておっかあをこまらせたとき、おもえはいったべ、「おっかあ、おらはいらねえから、そよサかってやれ」そういったとき、その花がさいた。おまえはいえがびんぼうで、ふたりに祭り着をかってもらえねえことをしてたから、じぶんはしんぼうした。おっかあは、どんなにたすかったか!そよはどんなによるこんだか!

おまえはせつなかったべ。だども、この赤い花が咲いた。この赤い花は、どんな祭り着の花もようよりも、きれいだべ。ここの花はみんなこうしてさく。

ソレそこに、つゆをのせてさきかけてきたちいさい青い花があるべ。それはちっぼけな、ふたごのあかんぼうのうえの子のぼうが、いまさかせているものだ。きょうだいといっても、おんなしときのわずかなあとさきでうまれたものが、じぶんはあんちゃんだとおもって、じっとしんぼうしている。おとうとは、おっかあのかたっぽうのおっばいをウクンウクンとのみながら、もうかたほうのおっばおもかたっぽうの手でいじくっていはなさない。うえの子はそれをじっとみて、あんちゃんだからしんぼうしている。目にいっぱいなみだをためてー。

そのなみだがそのつゆだ。

この花さき山いちめんの花は、みんなこうしてさいたんだ。つらいのをしんぼうして、じぶんのことよりひとのことをおもってなみだをいっぱいためてしんぼうすると、そのやさしさと、けなげさが、こうして花になって、さきだすのだ。

(八郎と三コの話は省略。)

<物語終末部分（一部省略）>

あやは山からかえって、みんなに山ンぱから聞いたこのはなしをした。しかし、だれもわらってほんとうにはしなかった・・・(この間は省略)・・・けれども、あやは、そのあとときどき、「あっ!いま花さき山でおらの花がさいているな」っておもうことがあった。

3 ねらい

思いやりの心の美しさに感動し、自分も思いやりの花を咲かせようという心情を育てる。

4 板書



5 学級の花さき山



6 展開

時	学習活動 主な発問・指示	支援 波線は心に響く工夫
5分	<p><b>1 今までの道徳の学習を振り返るとともに、本時の資料「花さき山」の概要を知る。</b> 今までの道徳の勉強でどんな「思いやりの心」が見つかったでしょう。</p> <p>「花さき山」という不思議な山に咲く花の話です。どんな花が、なぜ咲くのか考えながら聞きましょう。</p>	<p>・今までの学習が想起できるように、前時までに使った「思いやりの心」のハートマークを示して確認していく。</p> <p>・子供の意識を前時の学習とつなげるために、生花を見せて、花は一生懸命咲くから美しいということを想起させる。</p> <p>・資料との出会いを大切にするために、余り詳しくはふれずに、視点のみ与えるようにする。</p>
20分	<p><b>2 資料「花さき山」の話を聞き、主人公あやの気持ちを考える。</b> (物語の前半を提示)</p> <p>妹のソヨが新しい着物を着てうれしそうにしているのを見て、あやはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>花さき山一面に咲いている花を見ながら、あやはどのようなことを考えていたでしょう。</p> <p>(物語の終末を提示) あやが「花さき山でおらの花が咲いているな」と思うのはどんな時でしょう。 (場面絵3を掲示する)</p>	<p>・花さき山の幻想的なイメージを伝えるために、場面絵を絵本の絵をスクリーンに大きく写し出して映像として提示し、話を語り聞かせる。</p> <p>・場面を想起しやすいように黒板に発問と関連する場面絵を掲示する。</p> <p>・場面絵1を掲示し、あやが我慢していることに気付けるように、場面絵の表情に注目を促す。</p> <p>・場面絵2を掲示し、ゆっくり考えられるようにワークシートに書く時間をとる。</p> <p>・考えを分かち合うために、希望者に発表してもらおう。(少ない場合は、豊かな表現をしている子供を指名をする。)</p>
20分	<p><b>3 自分たちの花さき山を作る。</b> みんなが、思いやりの心を伝えた時、花さき山に花が咲きました。どんな時に咲いたか発表して、1組の花さき山にもきれいな花を咲かせていきましょう。</p> <p>心の目をしっかり開いて、お友達の思いやりの心を見つけて、3年1組の花さき山を花でいっぱいにしていきましょう。</p>	<p>・思いやりのある行動を想起できるように、心のノートのP41の記述を見返すように促す。</p> <p>・たくさん書きたいという子の思いを大切にするために、書けた子供から、ラシヤ紙の好きなどころへ花をはっていき、2枚目の花、3枚目の花と書いていくように促す。</p> <p>・実践への意欲付けとなるように、3年1組の花さき山を今後も続けていくことを伝える。</p>

7 評価

思いやりの心の美しさに感動し、自分も思いやりの花を咲かせようという心情が高まったか。  
(観察、ワークシート、花さき山の花への記述)